

2018年3月期 第3四半期 決算補足資料



2018年1月31日（水）

1. 連結損益計算書

売上高 ～ 前年比11.3%増で予算オーバー
 営業利益 ～ 予算を上回っての着地となった
 経常利益 ～ 為替関連損益などが寄与し増益

単位：億円

連結	17/3期 3Q	18/3期 3Q		18/3期
	実績	実績	前年比	予算
売上高	1,096.4	1,220.0	11.3%	1,600.0
売上原価	485.9	541.8	11.5%	690.0
販売管理費	533.4	584.6	9.6%	780.0
営業利益	77.1	93.5	21.3%	130.0
営業外損益	17.1	21.8	27.2%	5.0
(内、為替関連損益)	(9.3)	(15.9)	71.1%	-
経常利益	94.2	115.3	22.4%	135.0
四半期純利益	63.2	83.2	31.6%	88.0

2. セグメント別損益

BELLUNA

売上高 ～すべてのセグメントで増収を達成

営業利益 ～専門通販事業、ソリューション事業を除き
すべて増益

- ・アパレル店舗の収益性改善やファイナンスの引当金減少などが寄与
- ・専門通販は化粧品事業などで新規顧客獲得を優先し減益

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

	18/3期 3Q								計
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	
売上高	614.0	347.3	109.1	45.1	25.8	48.7	37.1	-7.2	1,220.0
前年比 (%)	+6.5%	+12.3%	+16.7%	+12.5%	+12.1%	+74.5%	+18.3%	+41.4%	+11.3%
営業利益	38.1	16.4	8.9	18.1	12.3	7.0	-5.3	-2.0	93.5
前年比(億円)	1.9	-2.5	7.6	-0.3	3.0	5.5	0.7	0.4	16.4
営業利益率	6.2%	4.7%	8.2%	40.2%	47.6%	14.4%	-14.4%	28.1%	7.7%

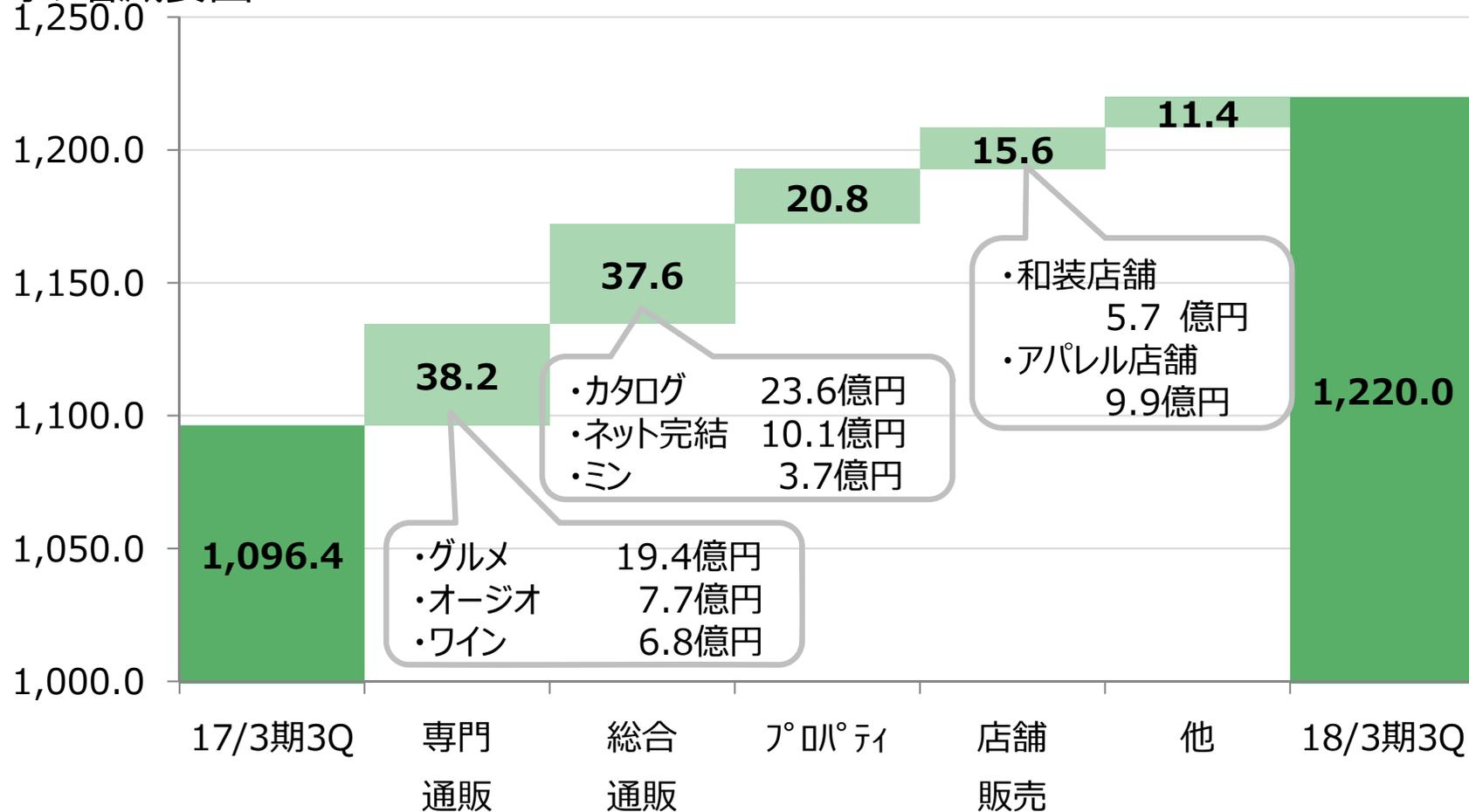
※(株)マイムは今年度より店舗販売からその他セグメントに区分変更

3. 売上の増減分析

専門通販はグルメ・ワイン事業や化粧品事業が好調で増収を牽引

店舗販売は和装店舗の新規出店等による増収とアパレル店舗の既存店売上が好調

売上高の増減要因



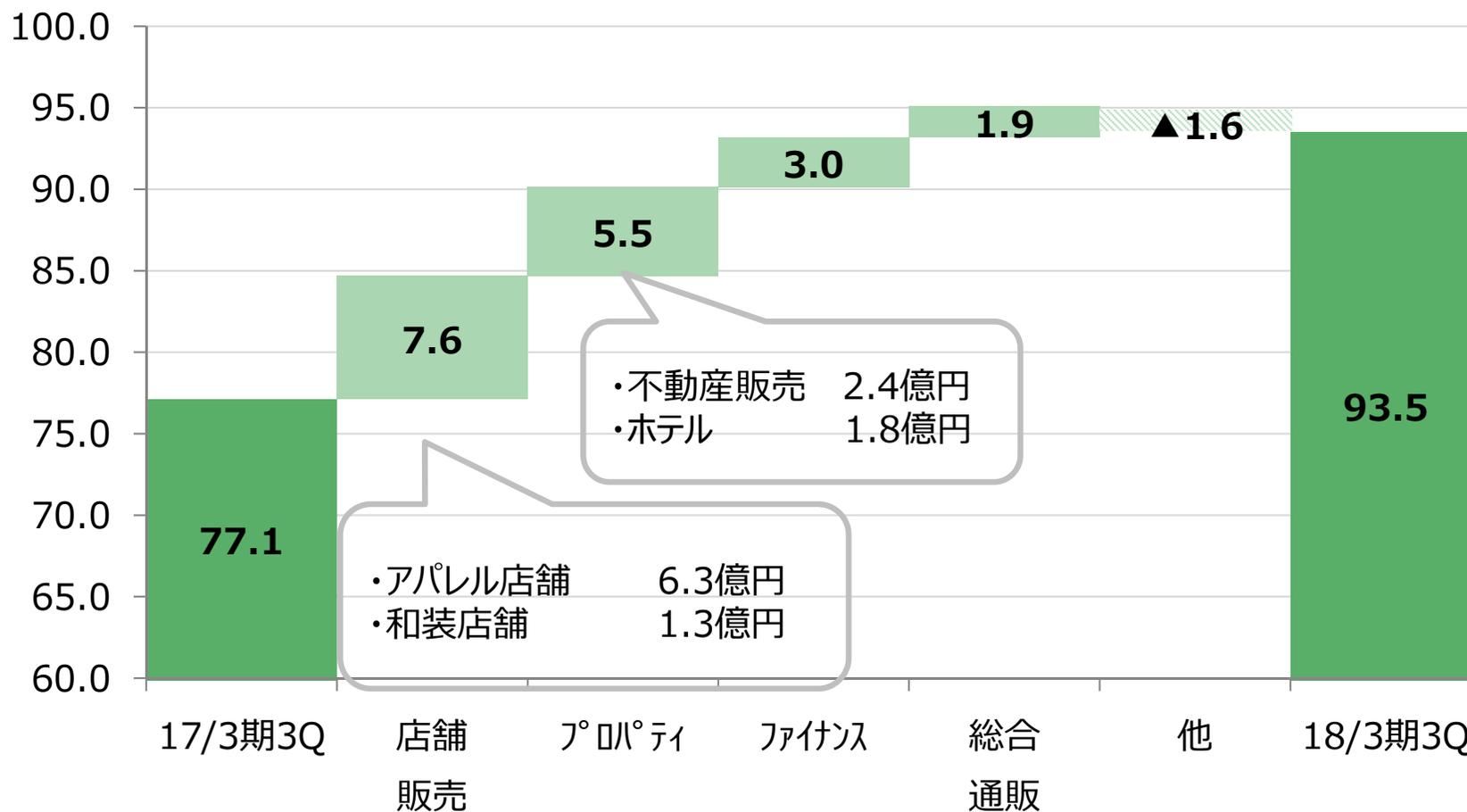
4. 営業利益の増減分析

BELLUNA

店舗販売は主にアパレル店舗の収益性改善により大幅増益。ホテル事業は稼働率向上や新ホテルの稼働により増益。総合通販は媒体費率改善等もあり予算をクリア

営業利益の増減要因

単位：億円



5. 連結貸借対照表

BELLUNA

資産では、現預金、商品、有形固定資産などが増加。これに対し負債では支払手形及び買掛金の増加。また社債の発行などもあり有利子負債が増加。

	17/3末	17/12末	増減額	単位：億円
流動資産	847.9	1,003.7	155.7	
現金及び預金	201.8	254.9	53.1	
受取手形及び売掛金	96.7	133.5	36.8	
商品	159.7	199.4	39.7	
固定資産	942.3	1,033.4	91.0	
有形固定資産	642.6	727.3	84.8	
投資有価証券	132.4	142.4	10.0	
総資産	1,790.2	2,037.0	246.8	
負債	912.5	1,099.3	186.7	
支払手形及び買掛金	177.4	245.2	67.8	
有利子負債	520.8	640.2	119.4	
純資産	877.7	937.8	60.0	
利益剰余金	633.6	704.6	71.0	
【自己資本比率】	[47.4%]	[45.4%]	[-2.0P]	

<本資料に関する注意事項>

本資料は、2018年3月期第3四半期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2018年1月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp